



第6回ミツバチシンポジウム

ミツバチ研究の目指す豊かな未来

福岡大学中央図書館1階多目的ホール
福岡市城南区七隈8-19-1,
2017年2月21日(火), 13:00~17:40

ミツバチの研究を通して、
人間と自然環境の関係を考えてみませんか？

能古島の菜の花畑 <https://retrip.jp/>

特別講演(13:00~14:05)

「長期野外実験でのネオニコチノイド系農薬および有機リン系農薬の蜂群に及ぼす影響」
山田敏郎(金沢大学名誉教授)

プログラム:

- 14:05~14:20: 藍浩之、高橋伸弥、橋本浩二、前田佐嘉志、鶴田直之(福岡大学)
「RFIDと高解像度ビデオ記録を用いたミツバチ行動自動追跡システムの開発」
- 14:20~14:50: 小林裕貴、田中聡至、牛島実佑、楠目晃大、目崇志、藍浩之
(福岡大学理学部地球圏科学)
「尻振りダンス発現までのダンスコミュニケーションの解析」
- 14:50~15:05: 高橋伸弥(福岡大学工学部電子情報)
「ミツバチ行動自動追跡システムにおける画像処理技術の適用」
- 15:05~15:15: 休憩
- 15:15~15:45: 野口 凌、磯川 悌次郎、池野 英利、峯本 俊文、松井 伸之(兵庫県立大学電子情報)
「セイヨウミツバチの自動計数システム」
- 15:45~16:15: 吉田 滯、大橋瑞江、木村敏文、岡田龍一、池野英利(兵庫県立大学環境人間)
「ミツバチコロニーのエネルギー収支の季節変化-成長期と退行期の比較」
- 16:15~16:30: 甘中健一、池野英利、岡田龍一、木村敏文、大橋瑞江(兵庫県立大学環境人間)
「ミツバチコロニーの成長と退行特性に関する数理モデル解析」
- 16:30~17:10: 佐々木謙(玉川大学農学部生物資源)
「ミツバチ雄の飛翔行動と脳内アミン」
- 17:10~17:25: 鶴田直之(福岡大学工学部電子情報)
「生物学と情報科学との融合の意義と今後への期待」
- 17:25~17:40: 総合討論
- 18:00~: 意見交換会(フォレストにて飲み物と簡単な食事を準備します・中央図書館と同じ建物1階)、
参加費は、学外参加者2000円、大学教職員2500円、学生1500円

主催:福岡大学研究推進部・総合科学研究チーム「ミツバチ追跡解析システム開発」
連絡先:藍浩之(電子メール ai@fukuoka-u.ac.jp、または電話 092-871-6631, 内線6275)

どなたでも参加無料。意見交換会参加希望は2月14日までにご連絡を!

